



【市町村タイムライン】の取組み状況

令和3年3月時点

地域・ブロック	市町村名	広域TLへの参画					市町村TL 策定状況						
		①	①'	②	③	④	⑤	策定済み ○	完成時期 (予定)	対象災害			
		安威川流域	神崎川流域	寝屋川流域	石川外流域	大津川流域	大阪湾 / 沿岸			洪水	土砂	高潮	地震
豊能	能勢町												
	豊能町												
	池田市							○	R2.3月	●	●		
	箕面市							策定中	(R3年度)	●	●		
	豊中市		●										
三島	高槻市	●						○	H29.1月	●	●		
	茨木市	●						策定中	(R3年度)	●	●		
	島本町							○	R2.3月	●	●		
	吹田市	●	●					策定中	(R3年度)	●	●		
	摂津市	●	●										
大阪市	大阪市	●	●	●									
北河内	枚方市			●				○	R3.3月	●	●		
	交野市			●				○	R1.9月	●	●		
	寝屋川市			●				策定中	R3.6月	●	●		
	守口市			●				○	R1.6月	●			
	門真市			●				○	R2.6月	●			
	四條畷市			●				○	R2.12月	●	●		
	大東市			●				○	H30.8月	●			
中河内	東大阪市			●				○	H30.8月	●	●		
	八尾市			●				○	H30.8月	●			
	柏原市			●	●			○	H30.12月	●	●		
南河内	松原市				●			○	R2.3月	●			
	羽曳野市				●			○	R2.3月	●	●		
	藤井寺市				●			○	R2.3月	●			
	太子町				●			○	R2.3月	●	●		
	河南町				●			○	H30.8月	●	●		
	千早赤阪村				●			○	R2.3月	●	●		
	富田林市				●			○	R2.3月	●	●		
	大阪狭山市				●			○	R2.3月	●	●		
	河内長野市				●			○	R2.3月	●	●		
泉北	堺市						●	○	R1.5月	●	●		
	和泉市					●	●	○	R1.7月	●	●		
	高石市						●	○	R3.3月	●		●	
	泉大津市					●	●						
	忠岡町					●	●						
泉南	岸和田市					●	●						
	貝塚市						●	○	R1.9月	●	●	●	
	熊取町						●						
	泉佐野市						●	○	H28.7月	●	●	●	●
	田尻町						●						
	泉南市						●						
	阪南市						●						
	岬町						●						
全43市町村						完成○	26	30	23	3	1		
						策定中	4						

■ おおさかタイムライン防災プロジェクト

- タイムラインとは、災害の発生に備えて「いつ」「誰が」「何をするか」に着目して、防災行動と実施主体を時系列に整理した計画。（事前防災行動計画）
- 台風等に起因する洪水や高潮、土砂災害など事前に予測ができる進行型の災害を対象に、タイムラインを府域全域に展開しています。



■ 各種タイムラインの内容と意義

府施策	おおさかタイムライン防災プロジェクト			防災意識の普及啓発
TL種別	<b>広域</b> タイムライン	<b>市町村</b> タイムライン	<b>地域</b> タイムライン (コミュニティ) 『地区防災計画』を時間軸に沿ってわかりやすく整理したもの	<b>マイ</b> タイムライン
内容・主体	大きな流域を対象に多くの防災機関の行動を記載し、主に <b>国や府が主体</b> に作成。	市町村の各部署の防災行動を記載し、主に <b>市町村が主体</b> に作成。	コミュニティレベルでの防災行動を記載し、 <b>市町村と地区住民</b> が一緒に作成。	住民一人ひとりの防災行動を記載し、 <b>個人や家族</b> が作成。
意義	<b>公助</b>		<b>共助</b>	<b>自助</b>
	行政や消防・警察による救助活動や支援物資の提供など、 <b>公的支援を円滑に進めること。</b>		高齢者や障害者などの避難や救助活動のために、地区住民たちで助け合い、 <b>地区の防災力を向上</b> すること。	家庭で日頃から災害に備えたり、災害時には事前に避難するなど、 <b>自らの力で身を守る</b> こと。

『おおさかタイムライン防災プロジェクト』のあゆみ

- 平成29年 ● **キックオフイベント**  
3月 おおさかタイムライン防災プロジェクト シンポジウム
- **リーディングプロジェクト 発足式**  
7月 寝屋川流域 大規模水害タイムライン  
12月 河南町 土砂災害タイムライン
- 平成30年 ● **リーディングプロジェクト 完成・運用開始**  
6月 河南町 土砂災害タイムライン  
8月 寝屋川流域 大規模水害タイムライン  
**タイムラインの発動とふりかえり、改善**  
8～10月 台風20号、21号及び24号
- 令和元年 ● **情報発信・気運醸成・きっかけづくり**  
1月 タイムライン・カンファレンス全国大会（貝塚）  
**TL完成・運用開始**  
9月 安威川流域 洪水タイムライン
- 令和2年 ● **TL完成・運用開始**  
3月 南河内地域 広域タイムライン  
8月 大阪湾沿岸(泉州)高潮タイムライン
- 令和3年 ● **TL完成予定**  
3月 大津川流域広域タイムライン  
秋頃 神崎川流域タイムライン  
**プロジェクトの総括（シンポジウム）**



■進捗状況（令和3年3月）  
広域タイムライン【完成 5流域】  
市町村タイムライン【完成 24市町村】

■住民の避難行動に関する現状

- プロジェクト立ち上げ（H29.3）以降、「広域」「市町村」が進み、タイムライン導入で行政側の先を見越した早めの防災行動（体制構築や避難勧告等の発令）が可能となった。一方で、**防災情報が豊富に存在しているにもかかわらず、住民側では、肝心の避難行動に結びついていない。**（タイムラインが「地域」まで浸透しておらず「広域」「市町村」の真の効果が発揮できていない。）
- また、平成30年7月豪雨、令和元年台風第19号、令和2年7月豪雨（球磨川）など、近年、大規模水害が頻発し、**高齢者や障害者など『避難行動要支援者』が、犠牲者の半数以上を占めている。**
- さらに、避難所における感染症対策や、在宅避難、親戚・知人宅など、指定避難所に限らない**避難の在り方が多様化している。**

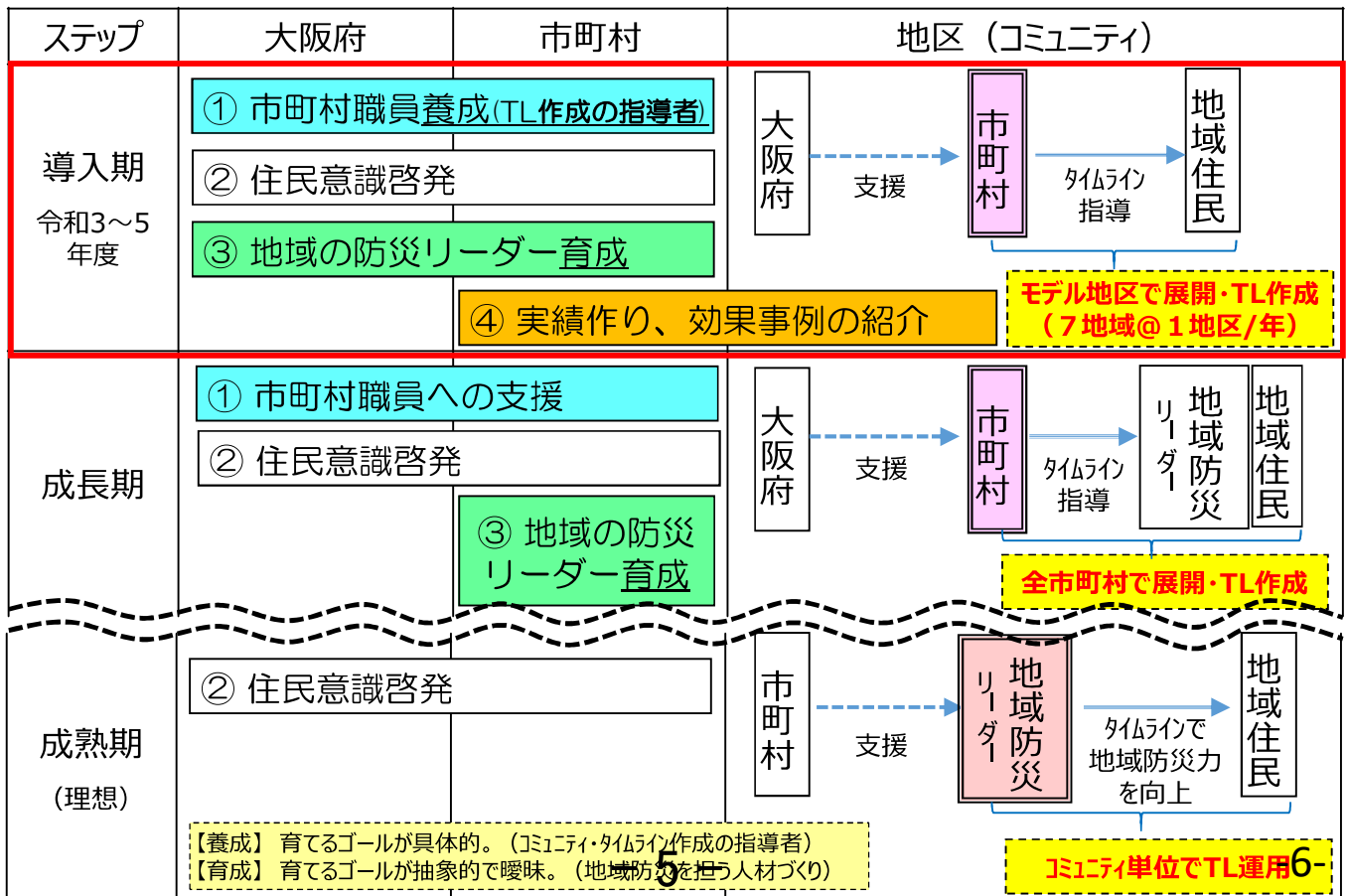
■今後の取り組みの方向性

**「地域(コミュニティ)」タイムラインの取り組みを強力的に支援して、自力で避難できない高齢者等を含む地区住民の避難の実効性を高め、適切な避難行動に導いていく。**

■ 課題と対応

地域タイムラインが進まない理由（課題）		対応方針	具体的な支援内容
市町村	取組み方がわからない	市町村職員の養成・支援	① ■ ノウハウ伝授、気運醸成 ・シンポジウム開催（気運醸成） ・講習会（TL指導者養成） ・動画など支援ツールの開発
	他の防災の取組みが多くて手が回らない		
	明確な効果が見えない	実績作り、効果事例の紹介	④ ■ <b>モデル地区</b> での取り組み ・1地区/年/事務所管内
地域住民	対象地域が多くてマンパワー不足	指導役を担う地域の防災リーダーを育成	③ ■ 防災リーダー育成支援 ・防災リーダー研修 <small>（府・防対協主催）</small> に『TL指導者養成』を組入れ ・市町村が企画する育成研修への支援（講義など）
	指導者・キーマンが不在		
	防災意識が未成熟	住民の意識啓発の繰り返し	② ■ 災害リスク周知 ・浸水想定区域図等の公表 ・地域版ハザードマップ更新の支援

■ 理想に向けた段階的な取り組み



■ 取り組み支援ツール（DVDにパッケージ化）



動画



ワークシート(ひな形)



タイムライン策定の手引き  
(洪水編・土砂災害編)



コミュニティ・タイムライン  
の啓発リーフレット

※活用事例

1) 『コミュニティ・タイムライン』の紹介

・地域住民とのワークショップにてタイムラインの意義や効果、進め方などの説明に活用

2) DVD(動画)を活用した防災啓発

・防災出前講座、地域版ハザードマップ作り、防災リーダー研修などでの学習ツール



ワークショップの標準的な手順

① 学習会

DVD(動画) + 座学等による講習

② まち歩き・フィールドワーク

危険箇所や避難経路等の確認

③ グループワーク

防災行動を地区住民で討議

④ 避難訓練など

出水期前や台風に備えて実施

-7-

【参考】モデル地区での年間業務サイクル(案)

項目	ツール・準備物	2～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
⑩ 行方地区選定 市町村と候補箇所調整	○候補要件 活動実績や防災リーダーの存在、主体性のある地区	■				■ 次年度の候補箇所
① 学習会 地区の災害リスク周知、防災気象・避難情報の入手方法、行動のタイミング	タイムライン動画、ハザードマップ、マイタイムラインワークシート、出前講座資料など		■			
② フィールドワーク 危険箇所・避難経路等の確認、防災資器材の保管場所・点検等	ハザードマップ 防災資器材リスト 備蓄物資のサンプル等		■			
③ グループワーク 地区の特性・課題抽出 連絡系統、安否確認方法、避難行動要支援者の避難検討、コミュニティタイムライン策定	ワークショップ 道具、コミュニティタイムラインワークシート、要支援者の名簿(市町村)			■ 進行度合いに応じて複数回実施		
④ 避難訓練 TLに基づく情報伝達、避難(避難所開設)、安否確認(避難行動要支援者)等の訓練実施	現行のタイムライン 災害対策訓練道具		■ 梅雨期前～台風期 次年度以降もフォローアップ支援			

■ 望ましい実施時期

# コミュニティ・タイムライン モデル地区

令和3年3月  
大阪府 河川室

## ■モデル地区 予定箇所 (令和3年度)

番号	市町村	候補地区	管内
①	豊中市	千成地区	池田土木
②	高槻市	柳川地区	茨木土木
③	枚方市	調整中	枚方土木
④	調整中	調整中	八尾土木
⑤	調整中	調整中	富田林土木
⑥	和泉市	調整中	鳳土木
⑦	調整中	調整中	岸和田土木

1 地区以上/年度@ 7 土木事務所管内



大阪府では、市町村のコミュニティ・タイムラインを取り組みを  
支援するため**モデル地区を募集**しております。

お問い合わせ・ご相談は、土木事務所 地域支援企画課まで